

小中一貫教育だより

つなぐ

令和2年度
No. 2
9月



～「学び」「育ち」をつなぎ、自立して共に生きる子どもを育てる～

笠岡市教育委員会 一貫教育推進室

義務教育9年間を見通した指導カリキュラムを作成

義務教育9年間を貫く系統的・継続的指導計画「小中一貫教育カリキュラム」を令和3年度から試行していきます。確かな学力をつけるためには、教師一人一人が、子供たちに身に付けさせたい力を具体的かつ明確に意識して授業をすることが大切です。この「小中一貫教育カリキュラム」では、「つけたい力」の義務教育9年間の系統を示し、既習内容や上学年とのつながりを示していきます。そして、教師が、教える内容や教える方法を確認したり工夫したりする手立てとして活用していきます。子供たちが今以上に「分かった」「できた」という喜びを味わうことができるようにしていきたいと考えています。

～ 小学校・中学校の先生方が集まってカリキュラム編成委員会を開催 ～



8月18日(火)に、第1回カリキュラム編成委員会を開催しました。国語、社会、算数・数学、理科、外国語、音楽、図工・美術、保健体育、家庭の9教科のカリキュラムについて検討しました。小学校と中学校の先生方が教科ごとに集まり、義務教育9年間のカリキュラムの編成に取り組みました。

各教科で、「課題は何だろうか」、「課題を改善するには何に力を入れていけばよいのだろうか」等を協議し、各学年の指導計画の作成や見直しを行っていきましました。令和3年度の試行を目指し、今後も検討を重ねていきます。

小学校と中学校の教員が、9年間を通して子供たちを育てようという意識の高まりが感じられる第1回編成委員会でした。



それぞれの中学校ブロックの実態に応じた小中一貫教育の推進

令和3年度小中一貫教育の試行に向け、各中学校ブロックで、それぞれの実態に合わせて体制づくりが進められています。

小中一貫教育だより「つなぐ」では、今後、いろいろなブロックの小中一貫教育の取組を紹介していきたいと思えます。

なお、島しょ部においては、中学校ブロックが成立しない場合がありますが、それぞれの特徴を生かした教育をさらに推進していきます。そして、来年度から全市で試行する各教科の「小中一貫教育カリキュラム」を活用し、9年間のつながりを意識した授業を行い、確かな学力の育成を目指します。

今回は、金浦中学校ブロックの取組について紹介します。

金浦中学校ブロックでは、8月7日(金)に、ブロック内の小中学校の教職員が集まって、「金浦中学校ブロック小中一貫教育推進会議」が開催されました。

部会は、「学力向上部会」「『地域学』推進部会」「生徒指導部会」「交流促進部会」の4部会で構成されています。まず、全体会がリモートで行われ、小中一貫教育コーディネーターから笠岡市の小中一貫教育の説明があり、その後、各部会で協議の時間が設けられました。部会では、それぞれの学校の子供たちの様子や、学校の取組の情報交換をし、金浦中学校ブロックでは、どんな子供像を目指して、どんな取組をしていくのかについて熱心に協議が行われました。自分たちのブロックの子供たちを小学校と中学校の教職員が一体となって育てようという意識が、小中一貫教育を成功させる要となります。



小北中学校区における連携教育

笠岡市・矢掛町中学校組合立小北中学校ブロックでは、今まで培ってきた連携教育をさらに推進していきます。各教科の「小中一貫教育カリキュラム」を活用して義務教育9年間のつながりを意識した授業、乗り入れ授業、小学校間交流、異校種交流等を充実させていきます。